

事務事業事後評価シート[令和1年度事業]

1. 基本情報

■事業の担当課	中央図書館	■担当係	資料係
■評価事業名称	郷土資料調査員設置事業		
■事業開始年度			
■評価事業コード	418100 - 006	■会計区分	一般会計
■総合計画での位置づけ	■政策	02 生きる力を育み、文化が躍動するまちづくり	
	■基本施策	02 社会教育の充実	
	■施策	03 社会教育機能の充実	
■事業の類型	05 ソフト事業(任意)	■政策・業務区分	政策
■法令の根拠区分	法令に定めはあるが任意の自治事務		
■法令等の名称	図書館法第三条 北上市立図書館規則第11条		
■関連計画の名称			
■事業の目的と概要	江戸時代の古文書、明治、大正、昭和時代の古い資料を体系的に仕分け、内容に沿った目録を作成し、北上市独自の情報を提供できる状態に整備を行う。整備した資料を提供することにより、様々な調査研究に役立つ情報を提供し、利用者に対する満足度の向上を図る。		

2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	令和1年度事業計画	令和1年度事業量実績
01	郷土資料調査整理員設置	郷土資料調査整理員	古文書及び明治～昭和初期資料受入、仕分け、整理、目録編成・作成件数調査 依頼対応件閲覧・写真撮影対応	江戸時代の古文書、明治・大正・昭和期の資料整理 3,839点目録の作成 7冊 修理 50点読書推進事業対応 2件 古文書閲覧対応 4件市史編さん室部会 調査対応 2日市史編さん室要望の目録の作成 44件

3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和1年度	備考
直接事業費	3	734	738	17	
人件費	872	884	902	1,857	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト	875	1,618	1,640	1,874	

4. 評価指標等の状況

指標コード	指標名	28年度	29年度	30年度	1年度	指標の説明
01	資料整理	1,336件	1,014件	4,193件	3,839件	古文書整理件数
02	近世・近代文書整理数	20,887件	21,901件	26,094件	29,933件	目録整備総件数
03	整理1件当たりコスト	654.94円	1,595.66円	391.12円	1,874,000円 ÷3,839=488.14円	フルコスト÷古文書整理件数

事務事業事後評価シート[令和1年度事業]

5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

■目標達成状況

- A. 順調
- B. 概ね順調
- C. 遅れている

達成状況の分析

家文書(いえもんじょ)3,839件の目録を編集作成したほか、過去の目録の訂正、補遺も行い事業を推進した。北上市史編さん事業からの要望により、目録作成、資料閲覧対応、調査等にも応じ協力している。

問題点・課題等

資料の劣化が進み、修理や酸化防止ケースの購入等、保存に係る費用の増加が見込まれる。

1. 直接的な受益者の範囲

- 不特定多数に及ぶ
- 特定されるが多数に及ぶ
- 特定少数に限定される

2. 国・県・民間との競合関係の有無

- 類似の事業はない
- 類似の事業はあるが競合はない
- 類似の事業があり競合する

3. 事業廃止の影響・貢献度

- 事業の廃止により重大な問題が発生する
- 事業の廃止により何らかの問題が発生する
- 事業の廃止による問題は想定されない

4. 市民生活・企業活動への貢献度

- 市民生活・企業活動の維持に不可欠
- 市民生活・企業活動の維持に一定程度貢献している
- 市民生活・企業活動の維持への貢献度は低い

5. 事業廃止の影響を受ける受益者の割合

- 1. で選択した人の大多数(70%程度)
- 1. で選択した人の半分程度(50%程度)
- 1. で選択した人の少数(30%程度)

6. 事業へのニーズの変化

- ニーズが高まっている
- ニーズは変わらない
- ニーズが低下している又は合致しない

7. 施策の改善需要度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

8. 施策の優先度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

9. 他市町村に比較しての優位性

- 先進的またはユニークな事業である
- 他と同程度の事業である
- 遅れている事業である

10. 実施主体の代替性

- 民間委託等の拡充は難しい
- 民間委託等の拡充が十分に可能
- 全部委託や実施主体の移行が可能

11. 経済性・効率性の向上

- 今以上の効率化や改善は難しい
- 効率化や改善を図ることは十分に可能
- 効率化や改善の余地が大きい

■事業の見直し方策(評価項目2.4の補足説明含む)

古文書は地域性の高い特別な資料であり、市史編さん事業や各種記念事業にも貢献している。資料整理や解説を更に進めていく。

■今後の方向性

- I. 拡充
- II. 継続
- III. 縮小
- IV. 廃止・休止
- V. 完了